

2. 教育制度の概要

Annual Education Statistics,2020 by Ministry of Education Royal Government of Bhutan 参照

2.1. 現代の教育制度

1950年代までのブータンの教育は、主に修院で行われた。僧院は、正式な識字能力教育の唯一の場であり、多くの著名なブータンの学者が、仏典を研究するためにチベットを訪問した。ブータンの学生にとっても、利用できる唯一の正式な教育の場は（1913/1914年に設立されたハーとブムタンのいくつかの私立学校を除けば）僧院であった。その後、僧院に加えて尼僧院の数も増え、それらは伝統的な僧院教育を支え続けている。

今日、ブータンの教育制度には、一般教育、僧院教育、ノンフォーマル教育の3つの主要な形態がある。一般教育制度は群を抜いて最大となり、現在では正式な教育構造として国民に受け入れられている。現在の教育制度は、1961年の最初の5カ年計画（FYP）以降、基本的な教育ニーズに対応し、国の社会経済的発展に必要な人材を育成するために成長し続けている。

さらに、ゾンカ語と英語の基礎およびポスト・リテラシー・コースは、一般教育または僧院教育に参加できなかった人々のための非正規教育プログラムを通じて提供されている。2006年から、教育省は、成人向けの継続教育プログラムを開始して、学歴を向上させ、生涯学習を促進している。

現代の教育システムは、約60年の間に、1961年以前の11校から、2020年には1132校に増加するとともに、幼児期教育から技術教育、職業教育、高等教育にまで、著しく拡大してきている。

図 2.1は、過去6年間にわたる学校と研究機関の総数の漸進的な増加を示している。

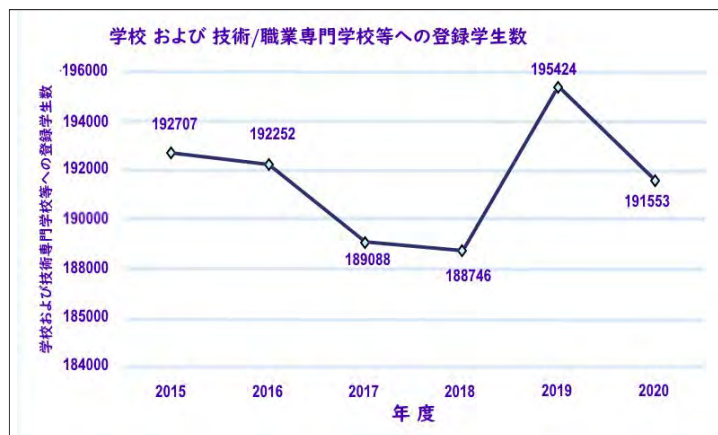
図 2.1：過去6年間の学校およびその他の教育機関の数



教育制度の拡大は、学生の入学者数の急増によって引き起こされた。1960年代頭初学生数は約 400人であったが、2020年には、国内のすべてのレベルの正規教育および高等教育機関の総入学者数は191553人（ブータン国外へ留学している学生を除く）に増加した。図 2.2に示すように、入学者数の傾向は2018年までの入学者数はわずかに減少

し、2019年には急激に増加した。2019年のこの急激な入学者数の増加は、他の理由に加えて、2019年からクラスXに合格したすべての学生がクラスXIに入学したことにも起因している。

図 2.2：学校*およびその他の技術・職業教育機関の登録者数



ここで学校には、幼児期教育機関、高等教育機関を含む。

表 2.1 学校教育の登録者の成長（2008－2020）

年度	女子	男子	合計
2008	77585	79527	157112
2009	81468	82794	164262
2010	84962	85443	170405
2011	86873	87074	173947
2012	89428	88931	178359
2013	86482	85909	172391
2014	86641	85752	172393
2015	86331	85071	171402
2016	85580	83980	169560
2017	84803	83289	168092
2018	84643	82465	167108
2019	84738	82048	166786
2020	87051	83755	170806

2.2 一般的な教育構造

ブータンの学校ベースの教育構造では、クラスPPからXまでの11年間を、無料の基礎教育としている。2019年から、政府の主導の取組みにより、クラスXに合格したすべての学生に、公立と私立、両方のクラスXIまでの教育を受けるための奨学金が提供されるようになった。一般教育構造は、7年間の初等教育（PP-VI）と6年間の中等教育（VII-XII）で構成される。2020年には、政策の転換により、初等教育の1年目の入学に適した年齢が、6歳から5歳に引き下げられた。

クラスXIIを修了した後、学生は、国内の高等教育機関で卒業証書（デプロマ）または学士号を取得するために勉学を続けるか、就職市場に参入する。公立の高等教育機関で学ぶ資格を持たないか、現在公立の高等教育機関に在籍している人は、政府の奨学金または自己資金のいずれかを通じて、国内または海外の私立の高等教育機関で学業を続ける。政府は、特別な人的資源の要件を満たすために高等教育を受けさせ

るために、限られた数の海外奨学金を提供している。技術訓練専門学校の卒業生は、その人の能力と専門分野への関心に基づいて、高等教育のレベルの教育を続けることができる。

図 2.3：一般教育の構造

学 年	幼児期ケア &発達	P-P 予備小学 校課程	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年				
ISCED	0		1						2						3				5			
形態	幼児期ケア &発達 (ECCD) センター	小学校教育 (5-11 歳)						中等教育 (12-17 歳)						高等教育 (18-22 歳)								
		小学校						前期中等 学校	中期中等 学校	後期中等 学校	学部課程											
														継続教育								
														非正規教育センター								
		職業教育制度 (TTI/IZC) [ISCED 3-4]																				
														就職市場								

2.3 一般教育における学校レベルの分類

初等教育レベルでは、小学校は、初等教育前（PP）からVI学年までの7年間の教育を提供する。 拡張教室（ECR）は、クラスPP からクラス IIIまでの4年間の教育を提供し、一部の小規模な拡張学校では、複数学年の教育を提供する。拡張教室は離れた散居村にあり、近くの学校が、管理を手伝っている。幼児の歩行距離を縮めて、教育施設を地域社会に近づけるために設立された。

中等教育の学校レベルの分類は、教えられる最終学年によって決められる。最終学年がクラスVIIIの学校は前期中等学校（LSS）と呼ばれ、最終クラスがクラスXまたはXIIの学校はそれぞれ中期中等学校（MSS）および後期中等学校（HSS）と呼ばれる。それぞれの中等学校における生徒の入学の際のクラスとし、PP、VII、IX、またはXIがありえる。

2.4 一般教育のカリキュラムと評価

学校教育の総合的な目標は、すべての国民が、知識が豊富で、巧みで、創造的で、革新的で、進取的な市民になり、国のニーズや新たな世界的な傾向に対応できるようになることである。初等レベルでは、生徒は基本的な識字能力と計算能力、国の歴史、地理、文化、伝統に関する知識、農業、健康、衛生、人口教育の基礎を学ぶ。道徳と価値の教育は、活動ベースの学習を通じて特別な注意が払われている。クラスIXでは、生徒は経済学、商業研究、コンピューター・アプリケーションから選択できるが、後期中等教育では、芸術、商業、リグズン、科学を主流として選択できる。2011年から、技術訓練専門学校の近くにある5つの学校も、クラスIXおよびXのオプション科目としてTVET(技術職業教育)を提供している。クラスPP-XIは、継続的形成評価、継続的総合評価、および期末総合試験で構成される。ブータン学校試験評価審議会（BCSEA）は、クラスXおよびXIIの国家試験を実施している。クラスIIIおよびVIの場合、BCSEAは問題、モデル回答、および試験用マークシートを提供し、試験は学校によって実施および評価される。

表 2.1: 一般教育カリキュラム (PP-XII)

	科学	商業	人文	技術&職業教育	RIGZHUNG ⁽¹⁾
学年 XI - XII	必修	必修	必修	必修	必修
年齢 17 - 18	ゾンカ、英語	ゾンカ、英語	ゾンカ、英語	ゾンカ、英語	ゾンカ、英語、Chenju Sumtag ⁽²⁾ , K-jur ⁽³⁾ , Nyengag ⁽⁴⁾
	コア科目 物理、科学	コア科目 商業、会計学 商業数学	選択科目 (3-4) 地理、商業 数学, ICT 歴史, Rigzhung ⁽¹⁾	選択科目 職業科目科目のグループから3科目選択	選択科目(1) Gyalrab ⁽⁵⁾ , Tshi ⁽⁶⁾
	選択科目 (1) 生物、数学 ICT、経済 技術職業教育	任意選択 ICT、経済 Rigzhung ⁽¹⁾ 技術職業教育	職業科目 事業経営学 ⁽⁸⁾	選択科目 (1) ICT、応用数学 経済、事業経営学	選択科目(1) Nencha ⁽⁷⁾ 技術職業教育
	事業経営学	事業経営学			
	必修であるが成績評価はしない: 保健体育、道徳/価値観/仏教-教育			必修であるが成績評価はしない: 保健体育、道徳/価値観/仏教-教育	
学年 IX - X	主要課程				Rigzhung ⁽¹⁾
年齢 15 - 16	コア科目 ゾンカ、英語、数学、科学 (物理、化学、生物)、歴史と公民、地理				コア科目 ゾンカ、英語、Khordey Lam Sum ⁽⁹⁾ , NgagdroenNyer-Khoi-Nam Shed ⁽¹⁰⁾ , Ka-Ned Selwai Melong ⁽¹¹⁾
	選択科目 道徳/価値観/仏教-教育、ICTリテラシー、音楽教育、視覚芸術、メディア学習、技術職業訓練科目、国際言語、保健体育、道徳/価値観				選択科目 職業科目、音楽教育、ITCリテラシー、技術職業訓練科目、国際言語
学年 VII - VIII	コア科目 ゾンカ、英語、数学、歴史と公民、地理				
年齢 13 - 14	選択科目 道徳/価値観/ITC-リテラシー、音楽教育、視覚芸術、メディア・リテラシー、技術職業訓練リテラシー、保健体育、仏教教育				
学年 IV - VI	コア科目 ゾンカ、英語、数学、社会科				
年齢 10 - 12	選択科目 道徳/価値観/仏教-教育、ICTリテラシー、音楽教育、視覚芸術、メディア・リテラシー、技術職業訓練リテラシー、保健体育				
学年 PP - III	コア科目 ゾンカ、英語、数学				
年齢 6 - 9	選択科目 保健体育、道徳/価値観/仏教-教育				

注意: 上に学校教育として上に記されている科目分類は、時間の経過と必要に応じて、積極的に変更される。

翻訳者による訳注:) 文化 (2) 菩薩道入門 (3) 仏教の教え (4) 伝統的な詩歌 (5) 歴史 (6) 暦学 (7) 音楽 (8) Entrepreneurship Education (9) 哲学 (10) 仏教のお教や教説に関する辞書 (11) チベット語やゾンカの時制の表現に対する文法